

「テンペスト～はじめて海を泳ぐには～」当日パンフレット
音声ガイド用 文字原稿

にち・英・バングラデシュさんかこく共同事業

テンペスト～はじめて海を泳ぐには～

2021年6月1日（火） ～ 6月6日（日）

あうるすぽっと（豊島区舞台芸術交流センター）

テキスト：W.シェイクスピア パメラ・カーター

原作翻訳：松岡和子

テキスト翻訳：ながた景子

総合演出：ジェニー・シーレイ

演出（日本）：大橋ひろえ 岡やすし

演出（バングラデシュ）サミアン・ジャハン・ドラ

美術：大島広子

照明：杉本こうすけ

音響：藤田赤目

衣裳：田中洋介

ヘアメイク：チョ・ヨン

ステージング：スズキ拓朗

舞台監督：筒井あきよし

照明操作：とりうみさき

音響操作：てるやま未奈子

映像操作：北畠大

映像編集：ヨナ・シーレイ・プレイバーマン

ワードローブ：井上美佐子

演出部：奥村直義、みぞぐちあすみ

サポートスタッフ：すぐろ達基

小道具製作：しのかわりこ

衣裳製作：小島かえで 井上美佐子 おおわだ梓 若木千鶴 武藤みきこ 川本彩乃

日英通訳：湯山洋子

手話通訳・コーディネーター（にち）：田村梢

手話通訳（にち）：飯塚佳代 佐伯ふみこ 村山春佳 高山むつこ

手話通訳（英）：ジェニ・ドレーパー シャンドリカ・ゴパラクリシュナン

こうほう・字幕：植田あす美

宣伝美術：おみ大輔

制作補佐：にしはらさかえ

制作：佐々木千尋

プロダクション・コーディネーター：須藤千佳（ブリティッシュ・カウンシル）

きしもとまさし（公益財団法人としま未来文化財団）

票券：すがや舞 内山よりこ

制作協力：55visio スペースクラフト・エージェンシー テアトル・エコー

オサフネ製作所 C・COM 橋井洋子

特定非営利法人シアター・アクセシビリティ・ネットワーク

主催：ブリティッシュ・カウンシル / 公益財団法人としま未来文化財団 / 豊島区

特別協力：グレイアイ・シアター・カンパニー / ダッカ・シアター

じょせい：公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京

<出演（配役）>

[日本]

大橋ひろえ（ヒーロー）

瀬川サチカ（サチカ、エアリエル）

せきばりお（ジョニー、ミランダ）

田代ひでただ（ヒデ、プロスペロー）

平塚かず美（バンダナ、アロンザ）

* シェイクスピアの原作ではアロンザはアロンゾ王

柳 浩太郎（ヤナギ、ファーディナンド）

よしどみさくら（サクラ）

声の出演

とみはま薫：アロンザ

すぐろ達基：プロスペロー

仁木祥太郎：プロダクション・マネージャー

[英国（映像出演）]

フィリパ・コール（ピッパ）

ファティマ・ニーモーガ（ファティマ）

ジャック・ハンター（ジャック）

ジェニー・シーレイ（ジェニー）

[バングラデシュ（映像出演）]

モハンマド・サダム・ビパリー（サダム）

モシェド・ミア（モシェド）

本事業は日英交流年「UK in JAPAN」の主要プログラムの一つです。

ブリティッシュ・カウンシルとちゅうにちえいこくたいしかんが2019年秋より展開している「UK in JAPAN」は、アートや教育、ビジネスなどさまざまな分野で日本と英国との関係をいつそうきんみつにし、未来志向型グローバル・リーダーとしてのれんけいをさらに深めることを目指しています。

<物語>

舞台は、日本、英国、バングラデシュ、さんかこくによる『テンペスト』の作品上演を控えた稽古場。

新型コロナウイルスの影響により、海外キャスト・スタッフの来日が不可能となってしまった。オンラインで海外と日本のけいこばをつなぎ、様々な障害やバックグラウンドを持つ出演者たちは、それぞれに異なる表現方法で『テンペスト』を創造するため奮闘する。

<『テンペスト』について>

弟アントーニオのさくりやくにより、地位を奪われ、娘ミランダとともにことうに流されたミラノ大公プロスペロー。さいげつを経て秘術を身に付けた彼は、ある日魔法の力で嵐を起こす。彼をおとしいれたアントーニオとナポリ王アロンゾー、王子ファーディナンドを乗せた船はなんぱし、ことうへ。そこでミランダとファーディナンドは恋に落ち、プロスペローは妖精エアリエルと怪物キャリバンをあやつって公国を取り戻す。シェイクスピア最後のぎきよくで、まるで嵐のあとのようなとうめいかんがただよう、シェイクスピアが最後にたどり着いた劇世界だと言われている。

<挨拶>

総合演出（ジェニー・シーレイ）

この作品はすでにあらなみの中、旅をしてきました。もう上演できないだろうと、幾度となく思いました。しかし、あうるすぽっと、ブリティッシュ・カウンシル、グレイアイ・シアター・カンパニーのビジョン、熱意、コミットメントに加えて、こくさいしょくゆたかな素晴らしい俳優たちの「ネヴァー・ギブ・アップ」の精神により、ついに上演へとこぎ着けました。できあがった作品は元々私たちが思い描いていたものとは別のものとなりましたが、このパンデミックと何もかもが全く新しくとらえ直された世界、そして新たな創造の仕方にしんしに向き合ったからこそできあがったものです。この冒険に参加できることを心から嬉しく思っています。

演出・出演：大橋ひろえ

ようこそ「テンペスト」へ

英国、バングラデシュ、日本の多様性を持つ才能にあふれた俳優たちが、文化、人種、言語、障害の違いを織り交ぜながら、ひとつの作品に取り組んできました。そしていよいよ幕の開ける日を迎えようとしています。出演者、スタッフ一同、この日の為にカオスな世界に飛び込み、必死にしがみつきのながら泳いできました。

さて幕の向こう側にどんな嵐が待っているのでしょうか。

みなさん、素晴らしいカルチャーショックを受ける舞台を、どうぞご観劇くださいませ。

演出：岡やすし

私たちは繋がろうとしています。身体障害者と、聴覚障害者と、視覚障害者と、高次脳機能障害のひとが。稽古場で、舞台の上で、手話通訳や日英通訳のひとを間にはさんで。イギリスと、 Bangladeshとも、繋がろうとしています。コロナの為に、1年延期になりました。イギリス・ Bangladeshのチームは日本に来られませんでした。稽古場の小さなカメラを通して、私たちは繋がろうとしています。

本番に、いろいろな身体を持ったみなさんと繋がる事が出来るか。繋がりたいと、いま、心から願っています。